



病院で取り組んでいる様々な事業についてご紹介します

病院情報センターについて

電子カルテをはじめとする医療情報システムは、目に見えないところで診療現場の検査、治療、会計がスムーズに行われるのを支えています。病院情報センターは、その仕組みを管理・運用し、より安全で質の高い医療の実現に取り組む部門です。

病院情報センターでは、電子カルテをはじめ、検査や処方、会計などに関わるさまざまな情報システム整備を支援し、医師や看護師、薬剤師などの医療スタッフが必要な情報を迅速に共有できる環境を整えることで、診療の効率化や医療安全の向上につなげています。

近年は、「医療DX(デジタルトランスフォーメーション)」の推進にも力を入れています。AIやクラウドなどの新しい情報技術を活用することで、患者さんと医療従事者の双方にとって利用しやすい医療環境づくりや診療現場の負担軽減や、より質の高い医療サービスの提供を目指しています。

また、病院で日々蓄積される医療データは、診療だけでなく、医学研究や医療の発展にも活用されています。当センターでは、こうしたデータを適切に管理し、個人情報保護や倫理面に十分配慮しながら、より良い医療の実現につながる研究や分析での利用を支援しています。

さらに、近年社会的な課題となっているサイバー攻撃への対策も重要な役割です。患者さんの大切な情報を守るため、情報セキュリティ対策の強化やバックアップ体制の整備を進めています。災害やシステム障害が発生した場合でも診療を継続できるよう備え、地域医療を支える大学病院としての責任を果たしています。

病院情報センターには、医師や歯科医師はじめ医療専門職職、システムエンジニア、事務職員など、多様な専門職が集まっています。それぞれの立場から知恵を出し合い、医療と情報技術を結びつけることで、患者さんにより安全で質の高い医療を届けるための取り組みを続けています。これからも病院情報センターは、徳島大学病院の「見えない力」として、当院の診療を支えていきます。

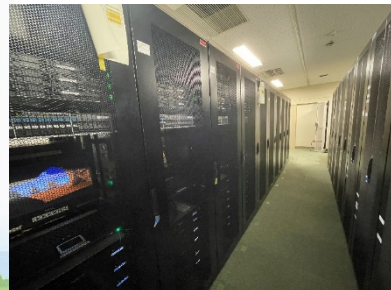
病院情報センター 部長 若田 好史



… 病院情報センターが支える、安心で質の高い医療 …



医療と情報技術の力で、安心で質の高い医療を支えています



田中 病院長補佐(タスクシフト・タスクシェア担当)に趣味や特技について寄稿いただきました

旅の思い出を絵にする

「趣味は何ですか」と尋ねられると、いつも少し困ります。人に胸を張って語れるほど本格的なものはありませんが、振り返ってみると、子どものころから旅と写真、そして絵を描くことが好きでした。

子どものころは鉄道が好きで、カメラを首から下げ、電車の写真を撮るために東京や大阪まで出かけていました。時刻表を眺めながら、どの列車に乗り、どこで撮影するかを考えることも楽しみの一つでした。

同じころ、小学校では絵画教室に通い、油絵を描いていました。しかし、大人になると、油絵は絵の具のにおいが強く、道具の準備や後片付けにも手間がかかります。アトリエのような専用の場所がないと続けるのは難しく、いつの間にか絵を描くことから遠ざかっていました。

医師として仕事を始めてからは、のんびり鉄道に乗る機会は少なくなりました。一方、学会など仕事に関連して各地へ出かけることがあり、最近では飛行機での旅も楽しんでます。また、スマートフォンがあれば、旅先で心に留まった風景をいつでも気軽に撮影できます。

さらに、お絵かきアプリの登場によって、再び絵を描くようになりました。旅先で撮影した写真の上から色を重ね、自分好みに描き変えることもあれば、何も描かれていない画面上のキャンバスに、一から好き勝手に絵を描くこともあります。油絵のようなおいや後片付けもなく、スマートフォンやタブレットがあれば、どこでもすぐに始められるところが気に入っています。

最近の楽しみは、旅行中に撮った写真をもとに、帰りの飛行機や道中で旅の思い出を一枚の絵に仕上げることです。絵を描きながら、その場所の空気や、そのときに感じたことを思い返しています。

今回、気に入っている作品をいくつか掲載しました。写真に色を加えたものもあれば、一から制作したものもあります。どれも制作時間は長くて2時間ほどです。あまり構えず、「サクッと」完成させられることも気に入っています。旅をして、写真を撮り、その思い出を絵にする。これからも自分なりの方法で、旅先で出会った風景を残していきたいと思っています。

病院長補佐(タスクシフト・タスクシェア担当) 田中 克哉

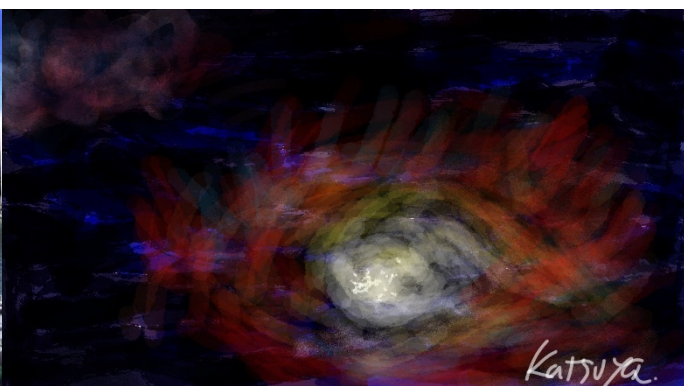
滋賀 紅葉



真夏の高校生



徳島 眉山



銀河新生

NEWS・イベント大募集！

「Harmony」は、病院職員を対象に、院内情報の伝達や職員のコミュニケーションの活性化などを目的として発行しております。行事やイベントなどのNEWSや院内で周知してほしいTOPICSなどがありましたら、どんどん病院総務課広報・企画係 (bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp) までお寄せください。また「Harmony」で取り上げたら良いと思うテーマなど、ご意見・ご提案もお待ちしております。





感染制御部
副部長 島田 大嗣

令和8年4月より異動しました感染制御部の島田大嗣です。長崎大学を卒業後、徳島大学で歯科研修医として研修を行い、修了後は進学して医師免許を取得しました。前職の東北医科薬科大学ではCOVID-19、結核、非結核性抗酸菌症、真菌、たまたに梅毒といった感染症診療に従事してきました。

休日は3日あれば台北で過ごす

すことを好き好んでおり、故宮博物館で1日過ごし、食事は西門町芒菓氷のマンゴーかき氷や遼寧街夜市 鵝肉城活海鮮のガチョウさんを嗜むことが至福でございますが、もはやスケジュールの都合と円安でなかなか叶わない状況です。

感染制御部では感染制御や抗菌薬使用のコンサルトの他に、次のパンデミックに備える準備や海外渡航のサポートを行っています。何卒よろしくお願い申し上げます。



循環器内科
医員 志村 拓哉

令和8年4月より徳島大学病院循環器内科で勤務しております、志村拓哉と申します。徳島大学病院で初期研修を行い循環器内科に入局後、県内外の関連病院で勤務し、このたび徳島大学病院に戻ってまいりました。

日々の診療の中でも、特に冠動脈疾患や末梢動脈疾患に対するカテーテル治療に力を入れています。これまで関連病院で培ってきた経験を生かしながら、さらに知識や技術を深め、患者さん一人ひとりにより良い医療を提供できるよう日々取り組んでいます。

休日はサウナでリフレッシュしたり、徳島ヴォルティスの試合を観戦したりして過ごしています。今後もさまざまな経験を積みながら、循環器診療を通じて患者さんや地域医療に貢献できるよう努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



小児科
医員 西岡 未咲

令和8年4月より赴任した小児科の西岡未咲と申します。令和5年に徳島大学を卒業し、初期研修を経て当院の小児科に入局しました。

去年は初期研修から引き続き、徳島赤十字病院で勤務していました。感染症や喘息、熱性けいれんなど市中病院ならではのCommon diseaseを診ることが多かったのですが、大学病院で

は高い専門性が必要な疾患を持つ患者さんが多く、日々たくさんの方のことを学びながら診療に取り組んでいます。

趣味は旅行で、47都道府県すべて制覇しています。国内外問わず、行ってみたいところはまだあるので、休日を利用して足を延ばせたらなと思っています。

まだまだ未熟で至らぬ点が多々あるとは思いますが、小児科医として成長できるよう精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



口腔内科
医員 高岡 由実

令和8年度より顎口腔疾患制御学分野(口腔内科)に医員として入局しました、高岡由実と申します。昨年徳島大学病院にて後期研修を終了致しました。

口腔内科では口腔疾患ならびに全身疾患に付随する口腔症状・口腔病変の診断と治療、埋伏智歯抜歯等の外来小手術、嚢胞摘出術や腫瘍切除術等の入院手術を行っています。また

口腔管理センターにて医科診療科と連携し、周術期の患者様の口腔機能管理を行っています。幅広く経験が積める環境の中で、周囲の先生方に教えていただきながら日々学ばせていただいております。

休日に普段行かない大きなスーパーへ行くのが新鮮で楽しいです。

至らない点も多々あるかと思いますが、安全な歯科治療を実践できるよう努めてまいりますので、今後とも皆様の指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



東病棟2階
看護師 齋藤 瑠璃

令和8年度より東病棟2階精神科神経科に入職いたしました、齋藤瑠璃と申します。精神科神経科では、患者さんの心に寄り添い、一人ひとりのニーズや目標に沿って、その人らしい生活を支える看護が行われています。現在は、患者さんが安心して治療を受けられるよう、コミュニケーションを大切に、状態観察や日常生活の援助、服薬管理

を行っています。指導ナースをはじめ、師長や先輩方のご指導のもと、日々精神科看護について学んでいます。正解が一つではないからこそ、対応に悩むこともあります。自分の関わりを振り返りながら、一つひとつの経験を日々の実践に活かしています。

休日は友人と食事や買い物に出かけ、連休には旅行を楽しんでいます。未熟ではありますが、知識と技術の習得に努めるとともに、患者さんの思いや背景を大切に、状況に応じた柔軟な対応ができるよう精進してまいります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



検査部 臨床検査技師
熊本 美優

令和8年4月に医療技術部臨床検査技術部門に入職いたしました、熊本美優と申します。検査部の形態検査部門に配属となり、血液検査や一般検査を担当しております。

血液検査では、血液細胞成分を測定するCBC検査や凝固機能を調べるための凝固検査を行ったり、顕微鏡で細胞形態を観察したりしています。また、

一般検査では尿などの検体を用い成分の測定や、尿中や髄液中などの細胞を観察しています。これらの検査は、患者さんの病気の発見や治療につながる重要な役割を担っているため、検査結果を正確に判断し、わずかな異常や変化も見逃さないことを日々心掛けております。

患者さんのお役に立てるよう、1つ1つの業務に責任をもって丁寧に取り組み、臨床検査技師として成長できるよう努めてまいります。まだまだ未熟ではありますが、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。